

ゴムの劣化

なぜ劣化やトラブルを知る必要があるか？

ゴムには様々な劣化モードがありますが、その兆候を掴むことは難しく、外観で異常を見つけた時点では手遅れであることが多いのが実情です。

そのため、あらかじめトラブルを想定し、それに合った材料選定・寸法設計を行う事が重要です。

化学的な劣化

長期にわたる外部からの刺激(熱・紫外線・オゾン・油・薬品・環境材)の作用により品質機能が低下

- 硬化
- 加水分解
- 膨潤
- オゾンクラック
- ソルベントクラック

オゾン



亀裂(クラック)

薬品



腐食

繰り返し疲労



割れ

油



膨潤

高温・過度な圧縮



へたり

ゴムに関するお悩みや気になることはありませんか？ぜひお気軽にご相談ください。
用途や課題に合わせて、最適なご提案をサポートいたします。